

「淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク」の活動について

大阪府立環境農林水産総合研究所 水生生物センター

上原一彦

大阪の中心部を流れる淀川には、そのシンボルフィッシュと呼ばれている淡水魚イタセンパラが生息しています。文化庁が天然記念物（文化財保護法）に、環境省は国内希少野生動植物種（種の保存法）に指定しています。イタセンパラは、主にワンドと呼ばれる川に沿って出来た池のような水域に生息しています。「繁殖期の秋に雌が生きている二枚貝の体内に産卵し、ふ化し仔魚は貝の中に留まって越冬した後、翌年の春に貝から泳ぎだす。」というユニークな繁殖特性をもっています。かつては淀川全域に多数生息していましたが、河川改修や外来魚であるブルーギルやブラックバスの捕食の影響などにより、平成 17 年を最後に野生での確認が途絶えてしまいました。



淀川城北ワンド（大阪市旭区）



天然記念物イタセンパラ

そこで、国土交通省・淀川河川事務所と大阪府立環境農林水産総合研究所・水生生物センターでは、イタセンパラを淀川へ放流する野生復帰の取り組みを行なっています。平成 21 年と 23 年に、水生生物センターで増殖したイタセンパラを各 500 尾放流しました。

その取り組みを支援するため、平成 23 年 8 月、市民団体、大学、企業、行政などで構成される「淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク（イタセンネット）」が設立されました。所期の目標として、淀川の城北ワンド群（大阪市旭区）にイタセンパラを野生復帰させたいと考えています。活動内

容は、地引網や籠モンドリを用いた外来魚駆除や魚類調査を、月に2回行なっています。また、イタセンネットには、5つの大学が参画していますので、各大学が連携し、学生向けの「水辺の外来種対策リーダー養成講座」を開催しています。



淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク

連携団体

平成23年8月28日設立

- 一般社団法人 水生生物保全協会 《行政》
 - 琵琶湖を戻す会
 - 淀川管内河川レンジャー
 - 淀川水系イタセンパラ研究会
 - 水生生物センター・サポートスタッフ
 - 人を自然に近づける川いい会
 - NPO法人 nature works
 - 淀川を守ろう会
 - NPO法人 エコネット近畿
 - 大阪工業大学 城北水辺クラブ
 - 大阪産業大学 エコ推進プロジェクト
 - 大阪産業大学 水生生物研究室
 - 大阪商業大学 経済学部 原田ゼミナール
 - 大阪府立大学 キャンパスビオトップ研究会
 - 大阪府立大学 里環境の会OPU
 - 摂南大学 エコビル部
 - パナソニックエコリレー ジャパン
 - 京都水族館
 - 環境省 近畿地方環境事務所
 - 国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所
 - 大阪府環境農林水産部 みどり推進課
 - 大阪府立環境農林水産総合研究所
- (22団体) 平成25年1月4日現在



イタセンネット

<http://www.itasenpara.net>